

第 15 回 医療安全監査委員会議事録

日 時：令和 6 年 9 月 11 日（水）

出席者：【監査委員会委員】

藤本良知委員長（議長）、森田眞照委員、永井仁美委員、
吉野敬昌委員、谷川昇委員、薦幸治委員

【病院側出席者】

松田公志病院長、長沼誠医療安全管理責任者、
宮崎浩彰医療安全管理部長、徳永あゆみ医療安全管理部副部長、
藤原宏司事務部長

【事務局】秘書室 齋藤、森田

議 事：

1. 業務状況報告

宮崎医療安全管理部長から、資料に沿って次の 4 つの業務報告が行われた。

- ① 医療安全管理部業務状況報告
- ② 医療安全管理対策委員会業務状況報告
- ③ 医薬品安全管理責任者業務状況報告
- ④ 医療機器安全管理責任者業務状況報告

2. 講評（監査結果）

主な意見は以下のとおりであった。

- ・退院時処方にワーファリンが含まれず再入院となった事案について
（意見）

- ・病院から退院時処方が出ていると思って診療所で処方しないことがある。
反対に両方で処方してしまう場合もある。患者の理解が不十分な場合やお薬手帳がない場合も多々あり、危惧する事例である。

（回答）

- ・対応については資料の対策案の通り進めていく。将来的にはマイナンバーカードで薬歴が分かるので、患者全員が使用することで解決が期待される。現在、マイナ保険証の確認窓口を増やし、できるだけ患者に持ってきてもらうよう対応している。

（意見）

- ・対策案に関連し、薬剤師は入院時に患者の持参薬を確認しているのか？

（回答）

- ・入院時等は、持参薬は週 1 回、時間内に薬剤師が確認している。退院時は必ず介入できているわけではない。
- ・病院薬剤師が不足している。病院への就職を希望する薬学生が少ない。現在も募集しているが、なかなか希望人数まで集まらない。悩ましい問題である。

・低レベル警鐘事例（患者誤認・手術室への呼び出し間違い）について
（意見）

・Aさんと呼んだらBさんが来たということか？

（回答）

・苗字を呼んだところ同姓の別人が来た。入室時間が違っており、本来来るべき患者が来ていないため確認したところ発覚した。

（意見）

・リストバンドのバーコードでのチェックは行っていなかったのか？

（回答）

・チェックしているが、今回はバーコードチェックの前に判明した。

・南海トラフ地震臨時情報について

（意見）

・警戒期間中、附属病院では事務当直を平時より多めに配置したり、物品固定の確認を行ったりしたのか？

（回答）

・停電になれば自家発電に移行するため、特段の取り組みは行っていない。揺れで電子カルテシステムが止まることを想定して紙カルテの準備は行った。

次回開催日について

令和7年3月12日（水）14：30から

以 上